**【ゼロカーボンによる広域防災連携推進会議概要】**

**１　設立経緯**

□　近年、**地球温暖化による異常気象が地球規模で度々発生**しており、日本においては、

今年の夏、例年にも増して**記録的な「酷暑」**となり、私たちの生活に大きな影響を与え

ているほか、**スーパー台風の上陸**や**災害の広域化・激甚化が顕著**となっている。

□　**大熊町**においては、**東日本大震災**とこれに続く**東京電力福島第一原子力発電所事故**

　により**全町避難を経験**

□　2021年２月に策定した**「大熊町ゼロカーボンビジョン」**において、**「2040年ま**

**でのゼロカーボン達成」**を町の目標としており、この目標達成に向け、**再生可能エネル**

**ギーの地産地消**を始め、**次世代交通の普及等をロードマップに位置付け**

□　EV(電動車)やFCV(燃料電池自動車)等の**次世代自動車の持つ「蓄電機能」**という**メ**

**リットを活用**し、さらなる**普及促進・ネットワーク化**による**ゼロカーボンの実現と災害**

**時のレジリエンス強化を図る**ことを目的に、**地域、自治体等を越えた広域防災ネットワ**

**ークの構築を目指すもの**です。

**２．推進会議の目指すもの**

□　会員である福島県内等の**地方公共団体、民間企業等が共同で推進会議を設置**し、**継続**

**的な運営**を図る。

□　ゼロカーボンの実現に向け、**再エネの最大限の導入**

　□　ZEV及び充放電設備等の**普及及びネットワーク化等の促進**

□　**災害時等**における、ZEV等の持つ**蓄電池機能**を活用した**広域的な電力供給支援体制**

**の構築**

□　その他**福島県特有の課題等を共有**し、**課題解決に資する具体的な取り組み**

**３　会員の役割等**

□　**地方公共団体**においては、それぞれの地域における**ゼロカーボンの実現に向けた再エ**

**ネの最大限の導入**やZEV、充放電設備等の**普及及びネットワーク化等の促進**

□　企業等においては、地域における**ゼロカーボンの実現に資する**それぞれが持つ**共有可**

**能な知見等の提供**

□　**災害時等**におけるZEV等の持つ蓄電池機能を活用した**広域的な電力供給支援体制の**

**構築**に向けた**協力・支援等**

□　その他、**福島県特有の課題等の解決**に資する**主体的・具体的な取り組み**

※　**ZEV**：Zero Energy Vehicle（排ガスを排出しない自動車）

**FCV**：Fuel Cell Vehicle（燃料電池自動車/水素自動車）

**EV**：Electric Vehicle（電動車）